

# 2017年7月16日 主日礼拝

司 会 ①吉原兄 ②高山吉兄 ③当麻泰兄

奏 楽

祈 禱 ①梅津兄 ②衛藤兄

十 戒

賛 美 聖歌481番「ほむべきかな」

(主は道を日々つくれる)(神様感謝します)

聖 書 ①② マタイによる福音書7章7～12節 (P9)

③ 使徒行伝20章17～24節 (P216)

音 楽 ① 坪井永城師

②③ サラ・ナオミ会

証 詞 ①② 石橋誠夫兄(バルナバ会)

メッセージ ①② 「Very Good・シリーズ3」

倉知契副牧師

③ 「一流人は三流人」

大川従道牧師

賛 美 「明日はどんな日か」(献金)

頌 栄 「主の祈り」アメン

祝 禱

「しかし、わたしは自分の行程を走り終え、主イエスから賜わった、神のめぐみの福音をあかしする任務を果たし得さえしたら、このいのちは自分にとって、少しも惜しいとは思わない。」

(使徒行伝二十の二十四)

## 【大和ニュース】

- \* 本日午後3時から「永楽教会ホサナ聖歌隊」によるコンサートがなされます。韓国から来られる大賛美隊を心から歓迎し、共に楽しみましょう。(開場2時半)
- ・ 本日入門講座Ⅲ、送迎駐車場奉仕会、J. Plus(青・学・中高生会)あり。
- \* 今年も半年守られたことを感謝し「上半期感謝献金」を捧げましょう。袋は受付。伝道者・宣教師・献身者とそのご家族のために用いられます。
- ・ 今週の水曜夜(7時20分)の祈禱会は「いやしの聖会」。講師はマレーシアのムーイ先生。期待します。②木曜朝は石橋伝道師 ③金曜夜は原田補教師。
- ☆ご婚約おめでとう! 黒江様と後藤様。第3礼拝後。当チャペルにて。
- ・ 中高生フットサル(土曜9時・ゆとりの森)。 ・新田さん、米国神学大学院へ。
- \* 「ラブ・ソナタ東京」(7月26日・19時)東京国際フォーラム(有楽町駅近く)。要招待状。

## 石の枕

原稿ネタがないと、どうしてもツレツレになる？！

ボストンで古風な床屋に入ったとき、前のお客さんが、二輪バイクのマニアで「カワサキ、カワサキ」と連発していた。客のひとりが、「修理のために取り寄せる部品が少し高いけど、最高のマシンだ」と、とても楽しそうに話していた。次は私の番。

I'm from Japan. My name is Kawasaki. It's my grandfather's company.

(私は日本から来たカワサキという者で、あれは私の祖父の会社です)と言ったら、大さわぎ。さっきの客の男を連れ戻して・・・。(英語ジョーク集より)

I was just kidding.(冗談です)と言って騒ぎは収まった。

私大川は47年前、サンフランシスコで牧師をしていた。町の床屋さんで散髪していただいたあと「牧師からは、お代はとらない。私が死んだら葬式をたのむ！」と冗談か本気か分からんことを言われた。

実はその時、サンフランシスコ周辺にリバイバルが起った時代のことが話題になり、学問的にも面白かった。森永キャラメルの森永泰一郎氏、笹尾鉄三郎先生のころのことである。

作家の曾野綾子さんは、一週おきに本を出しているかの如く、読み切れないほどの出版力である。以下『引退しない人生』(PHP文庫)より。

年を取るほどに「成熟する人」と「ただ老ける人」との違いは何か？

年を取るということは実にすばらしいことだ。雑学も増える。少々危険な所へ行っても、もうそろそろ死んでもいい年なのだから、自由な穏やかな気分で見られる。冒険は青年や壮年のものではなく、老年の特権だという私の持論はなかなか人には納得されないが、私はおかげでおもしろい生活を続けている。

一生で最大の冒険は「死ぬこと」「永遠の旅立ち」である。旅に出るのには準備がいるのに、死への旅立ちの備えを忘れている人は多い。「備えあれば、憂いなし」だ。聖書はハッキリと永遠を教えている。

先週105歳で天に召されたSさんは、最後まで賛美歌を口づさみ息を引き取った。召された本人も、見送る家族も永遠を信じて向きあって来た。勝利の人生だ。「死は勝ちにのみ込まれている」「私は復活です。私を信じる者は、たとえ、死んでも生きる！」(イエスキリストの言葉・ヨハネ11の25)。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！

Aコース:詩篇19篇~37篇 Bコース:使徒行伝19章~23章